

サウンドデザイン演習 13. サウンドデザイン実践 I

目次

- 前回のおさらい
- 今日やること
 - サウンドデザイン実践 I
 - Audition
 - 新規
 - マルチトラックセッション
 - オーディオファイル
 - マルチトラックセッションとオーディオファイルの違い
 - PremiereとAuditionの連携
 - 音声クリップの編集
 - prprojをAuditionで開く
 - 説明動画
- 最終課題(再掲)

はじめに

HPの置き場所(再掲)

<https://sammyppr.github.io/>

に置きます。これは学外からも閲覧可能です。

前回のおさらい

ナレーション録り

- ナレーション録り

実際にオーディオインターフェイスに接続してみました。

コンデンサーマイクにはファントム電源が必要なこと、身につきましたか？

今日やること

サウンドデザイン実践Ⅰ

となっていますが、とりあえずある程度伝えなかったことは前回までで伝えられたかと思えます。

AuditionとPremiereProの連携について少し触れて、あとは作業時間としようと思います。

また、前回は、一人一個ではなかったので、もう一回324教室利用して、オーディオインターフェイスの接続を確実に覚えてもらおうと思います。

Audition

新規

- マルチトラックセッション
- オーディオファイル

の2種類があります。どちらで作業しているのかを意識する必要があります。

マルチトラックセッション

マルチトラックのモードでは、オーディオファイルを複数同時に再生したり個別に調整やエフェクトをかけることができます。

オーディオファイル

モノラル(1ch)かステレオ(2ch)となります。

マルチトラックセッションとオーディオファイルの違い

オーディオファイルとマルチトラックでは、できることが少し異なりますが一番の違いは直接オーディオファイルを編集するか、しないかの違いです。

オーディオファイルを直接編集しないマルチトラックではやり直しを簡単にできます。

Adobe Audition マルチトラックセッションとオーディオファイルの違い

PremiereとAuditionの連携

ある程度のことエッセンシャルサウンドでできますが、ノイズをスペクトルで取りたい、等はAuditionを利用する必要があります。

音声クリップの編集

Premiereで音声クリップを右クリックして、「Auditionで編集」をすると、

- Premiere上でファイルがコピーされる
- Auditionで作業して保存
- コピーされて、編集されたものがPremiereで反映される

となります。

コピーされているので、元素材はそのまま残っているということになります。

prprojをAuditionで開く

Premiereのファイルは拡張子がprprojですが、Auditionでそのまま開くことができます。

無理してAuditionを利用する必要はないですが、映像が出来上がっていて、音に専念したい場合には、Auditionを利用してもよいでしょう。

AuditionからPremiereに戻るには「書き出し-Adobe Premiere Proへ書き出し」を利用します。

説明動画

[Adobe Audition超基本講座 #01 Audition内のモードとPremiere Pro連携](#)

最終課題(再掲)

- 最終課題ページ